

2011年(平成23年)3月1日(火曜日)

ブラジル被災地訪問 嘱託職員が活動報告

総社市役所

ブラジル南東部・リオデジャネイロ州で発生した豪雨災害の被災地を調査訪問した総社市嘱託職員でブラジル出身の譚俊偉(たむら しんゑい)さん(37)ら2人が帰国し、同市役所で現地での活動を報告した。

譚さんは1月19日、国際医療NGO「AMDA」(本部・岡山市北区)職員の看護師・石岡未和さん(30)とブラジル入りし、被害が大きかった同州ノバフリブルコ、テレノポリス両市を訪問。通訳や現地案内役などとして石岡さんの活動を補

助した。譚さんが2月5日に帰国した後、石岡さんは支援物資として豆乳粉ミルク缶(900g)2500個を被災家族や病院などへ届けた。

記者会見で2人は、がれきの山となった市街地や、土砂崩れでむき出しとなった山肌など現地の様子を動画などで紹介。譚さんは「母国の惨状に涙が止まらなかった。活動を通じて多くの



ブラジルでの活動を報告する石岡さん(左)と譚さん(総社市役所で)

人に感謝され、総社市がブラジル人に優しい街として知られたと思う」と話していた。(茶) 2011/3/1(火)